

教員養成セミナー 2月号
動画講義

12カ月完成
教職・一般教養
パワーアップノート

◆第5回◆教育心理①

発達・学習・評価

講師：古川聡

テーマ1

発達

「発達」を学ぶ意味を考えてください

教育心理学では最初に「発達」を学ぶことが多いです。なぜ、教員免許を取得するのに「発達」を学ばなければならないのでしょうか？

では、あなたはどの学校種、どの学年の担任になりたいですか？ その子どもの特徴は？ 答えられますか？

これに的確に答えられれば、効果的な指導ができるはずです。希望する学校種、学年のクラスの教壇に立った時の自分を想像しながら、そして自分の生い立ちを振り返りながら知識を身につけてください。

1. 遺伝と環境の影響

[遺伝重視]

←---

--->

[環境重視]

ゲゼルの
遺伝説

シュテルン
の輻輳説

ワトソンの
環境説

ジェンセンの
環境閾値説

ブロンフェン
ブレンナーの
生態学的発達理論

「遺伝か環境か」から
「遺伝も環境も」へ。
そして環境の影響を重視
する流れへと変化。

2. 身体発達

スキャモンの発達曲線

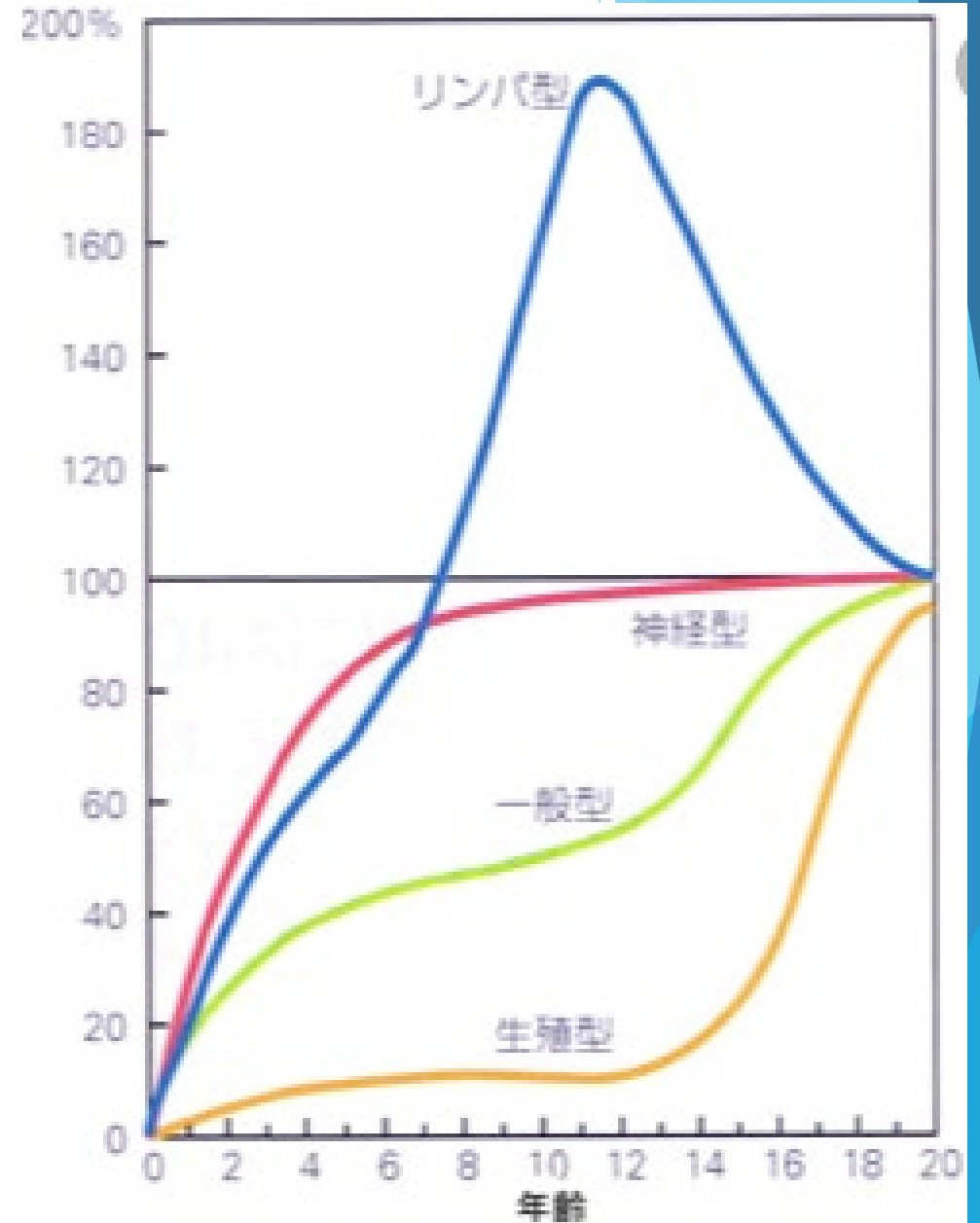
リンパ型：胸腺、扁桃腺など

神経型：脳や神経系

一般型：骨格や内臓など

生殖型：睾丸や卵巣など

右の図から、第二伸長期と第二次性徴を読み取ると・・・



3. 乳児期の発達

なぜ赤ちゃんはかわいいのか？

じっと私たちを見つめてくれるから

→**選好注視**の働き。生得的に人の顔に興味を持っている。

ニコッと微笑んでくれるから

→**生理的微笑**の働き。生まれながら微笑む表情をする。

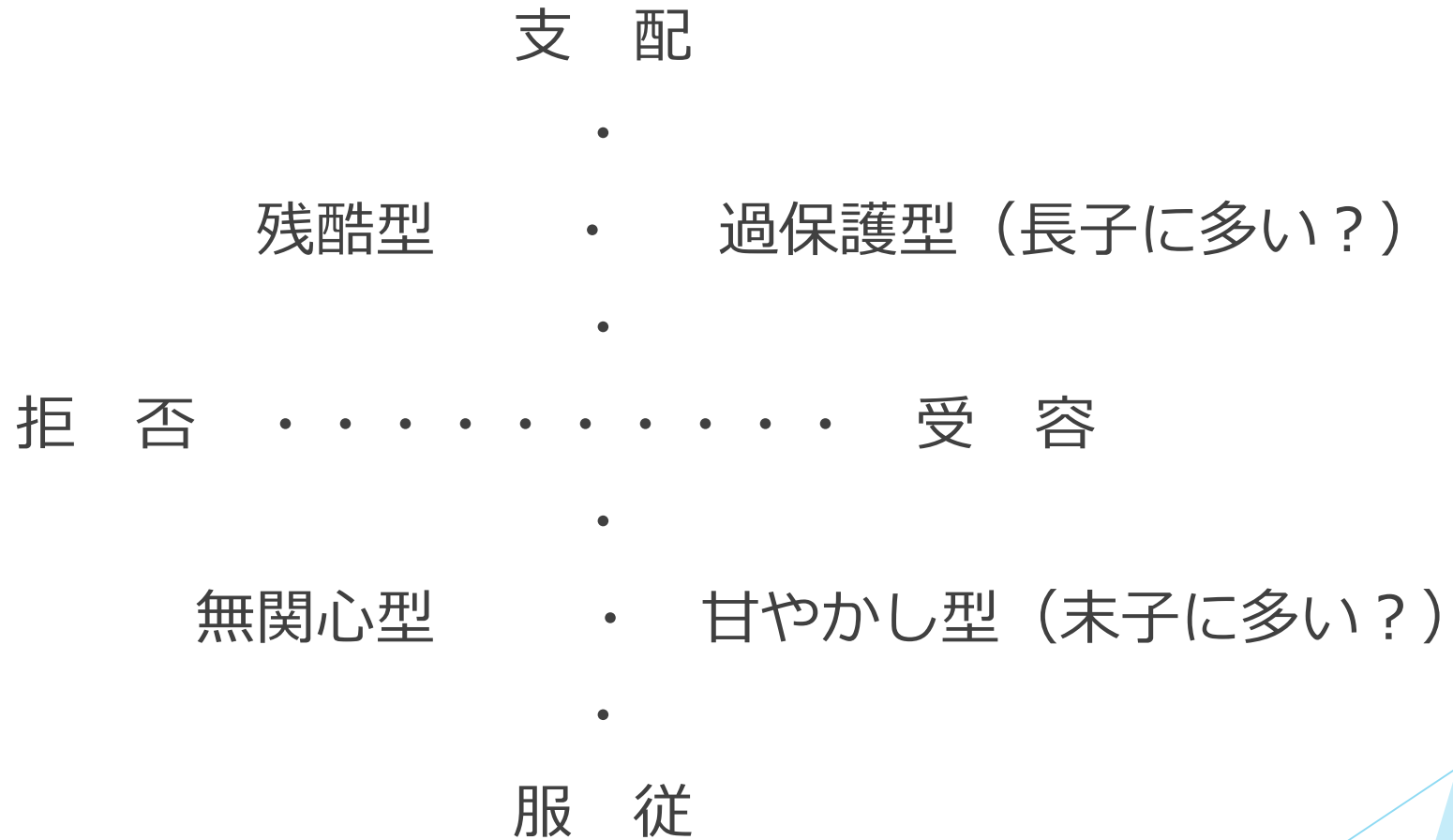
その後、理由があって微笑む**社会的微笑**に変わる。

4. 親子関係の形成

生まれたところにいた人が親。その親に繰り返し接し、欲求を満たしてもらうことで信頼が生まれ、情愛的な結びつきが形成される。これが、**ボウルビィ**によって提起された**アタッチメント**という概念。

どのようなアタッチメントが形成されているかを調べる実験方法が、**エインスワース**によって開発された**ストレンジ・シチュエーション法**。

サイモンズによる養育態度の研究



5. 自我の発達

[乳児期]

[幼児期]

[児童期]

[思春期]

[青年期]

ハンドリガード

身体的自己

第一反抗期

「自分」という存在を
確認し、肯定し、明確
な「自分」を見出して
いく過程の理解が重要

第二反抗期

モラトリアム

心理的離乳
第二の誕生
同一性の確立

エリクソンによる心理社会的危機

- 乳児期・・・**信頼** 対 不信（人は信頼できるんだ！）
- 幼児前期・・・**自律性** 対 恥と疑惑（やればできるぞ！）
- 幼児後期・・・**自発性** 対 罪悪感（やってみよう！）
- 児童期・・・**勤勉性** 対 劣等感（こつこつやらなければ！）
- 青年期・・・**同一性** 対 同一性拡散（私って誰？）
- 成人前期・・・**親密性** 対 孤独（親友を大切に！）
- 成人後期・・・**世代性** 対 停滞（次の世代に伝えていくのが務め）
- 老年期・・・**統合性** 対 絶望（いい人生だった！）

6. 認知発達

ピアジェの研究をまとめると

[感覚運動期] 循環反応、物の永続性



[前操作期] 自己中心性、アニミズム、実念論、人工論



[具体的操作期] 脱中心化、保存概念の獲得



[形式的操作期] 数量的なイメージの操作、仮説演繹的な思考

7. 社会性の発達

道徳性の発達

- (1) **ピアジェ**の研究：行為者の意図を汲み取れるか？
結果論的道徳判断から動機論的道徳判断へ。
- (2) **コールバーグ**の研究：慣習をどのように内面化していくか？
前慣習的水準から、慣習的水準、後慣習的水準へ。

集団の発達

ギャング・グループ 一緒に遊ぶ友だち。われわれ意識を抱かせ、集団でいることの喜びを体感できる。



チャム・グループ 同じであることを頑なに求め続け、排他性が強い、女子に多い集団。思春期になって現れる。



ピア・グループ 男女混合の緩やかなまとまりの仲間集団。青年期以降に現れる。

教員養成セミナー 2月号
動画講義

12カ月完成
教職・一般教養
パワーアップノート

◆第5回◆教育心理①

発達・学習・評価

講師：古川聡

テーマ2

学習

勉強は学校で一番大切な活動です

心理学では、「学習」を非常に幅広く捉えており、必ずしも勉強のみではありません。とはいえ、学校は学びの場です。

どのようにすると深い学びが可能か？

意欲的に学ばさせるためにはどのような工夫が必要か？

どうしたら確実に覚えてもらえるか？

などを知っておくことは必要です。基本的な事項をおさえておいてください。

1. 学習理論

学習理論の全体的な枠組みを示すと・・・

直接強化：連合理論：パブロフの古典的条件づけ
スキナーのオペラント条件づけ
ソーンダイクの試行錯誤説

認知理論：ケーラーの洞察説
トールマンのサイン・ゲシュタルト説

間接強化：バンデューラの社会的学習理論

学習の連合理論

パブロフの主張

条件刺激と条件反応が結びつくことが大事で、反応が**誘発**されるようになることが学習だ。

スキナーの主張

環境に自発的に関わり適切な反応を**自発**することが学習だ。

ソーンダイクの主張

望ましい結果をもたらす行動が強められて残り、行動が洗練化されることが学習だ。これが**効果の法則**。

学習の認知理論と社会的学習理論

ケーラーの主張

見通しを得ることができれば事態は解決できる。

トールマンの主張

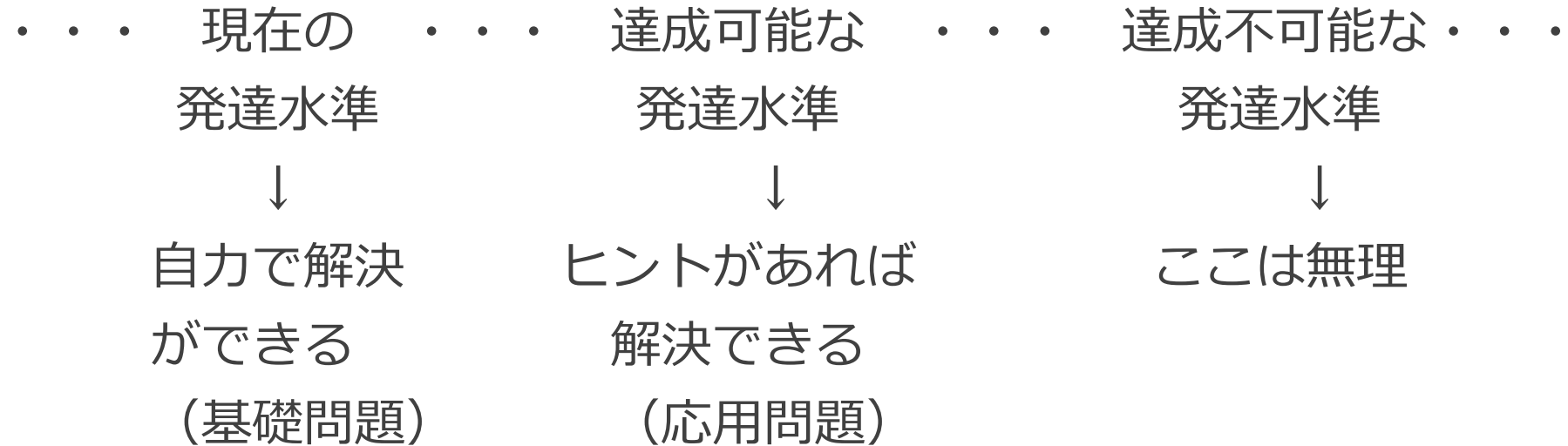
認知地図のように全体的な視点が取れば、自ずと最適な行動は決まる。

バンデュラの主張

他者の行動と結果を**観察**するだけでも十分に学習は可能。

2. 学習のメカニズム

発達の最近接領域に働きかけよう！



この範囲が**発達の最近接領域**

3. 動機づけ

報酬や罰があるから : 外発的動機づけ

↓ ↑

↓ ↑

機能的自律 ↓ ↑ アンダーマイニング現象

↓ ↑

↓ ↑

興味や関心があるから : 内発的動機づけ

4. 記憶の分類

保持時間の長さや記憶内容から分類すると

感覚記憶： **アイコニックメモリ**と**エコイックメモリ**



短期記憶： 7 ± 2 **チャンク**



長期記憶： 宣言的記憶・・・**エピソード記憶**
意味記憶
非宣言的記憶・・・**手続き的記憶**

さまざまな記憶

小説を読むのに必要な記憶は？・・・ワーキングメモリ

あなたの人生を彩るさまざまな思い出は？・・・自伝的記憶

あなたの人生に大きな影響を及ぼした記憶は？・・・閃光記憶

明日の予定は何？・・・展望的記憶

5. 記憶の特徴

時間が経てば経つほど忘れてしまう・・・**忘却曲線**

最初に覚えたことはよく覚えている・・・**初頭効果**

テスト直前に覚えたことは覚えている・・・**新近性効果**

あなたは記憶は得意ですか？

あなたは、普段どのような覚え方をしていますか？

どれくらいの量なら、どの程度の時間で覚えられるか、わかっていますか？



このような自分の記憶力や記憶方法に関する情報は**メタ認知**あるいは**メタ記憶**と呼びます。これを知っていることで、学校での作業も円滑に進むはずですよ。

教員養成セミナー 2月号
動画講義

12カ月完成
教職・一般教養
パワーアップノート

◆第5回◆教育心理①

発達・学習・評価

講師：古川聡

テーマ3

評価

子どもの頃の成績表を出して、内容を見つつ、先生がどのような気持ちで評価したのかを想像してください。

あなたが子どもの頃の成績表は何という名称でしたか？ 小学校では「あゆみ」などが多いです。

そこに記載されていたことを今見ると、どのように感じますか？

絶対評価であったと思いますが、それに納得していましたか？

先生はその時、どのように評価していたと思いますか？

これらを考えながら評価を学ぶことで、単なる試験対策で覚えるだけの事柄ではなくなります。

1. 評価基準による分類

何を伝えたいかによって用いる評価法は異なる！

集団の中での位置を伝えたいなら？ **相対評価**

学習目標の達成状況を伝えたいなら？ **絶対評価**

観点ごとの達成度を伝えたいなら？ **到達度評価**

努力の程度を伝えたいなら？ **個人内評価**

総合学習の学びの過程を伝えたいなら？ **ポートフォリオ評価**

パフォーマンスの結果を多面的に伝えたいなら？ **ルーブリック評価**

学びの状況を把握するための観点

資質・能力の3つの柱



観点別評価の3つの観点

- 1 知識及び技能
- 2 思考力・判断力・表現力等
- 3 学びに向かう力・人間性等

- 1 知識・技能
- 2 思考・判断・表現
- 3 主体的に学習に取り
組む態度

2. 評価目的による分類

学期のはじめ：**診断的評価**

みんな新しい単元を学ぶのに必要な準備はできているかな？



学期の途中：**形成的評価**

今のこの教え方で大丈夫か？ 理解は順調に進んでいるか？



学期の最後：**総括的評価**

成績をつけよう。この学期全体を振り返ってみよう。

3. 評価に介入する要因

できる子だと期待すると成績が向上する！：ピグマリオン効果

成績が上がることはないはず！：ゴーレム効果

解答の文字が丁寧な子は勉強できている！：ハロー効果

私も几帳面だけどあの子もやや几帳面！：対比効果

満点続出！あら大変！：天井効果

みんな20点ほど。あら大変！：床効果

環境も大事だけど私たち仲間よね！：ホーソン効果

4. 学力と知能

ビナーが開発した検査をもとにした検査が**ビナー式**知能検査。

→全般的な知的発達がわかる。

ウェクスラーが開発した、より診断的な検査が**ウェクスラー式**。→年齢別の問題で群指数を把握でき、同一年齢集団内での比較が可能。

学習障害の診断にも活用できる、カウフマン夫妻によって開発されたのが**K-ABC心理教育アセスメント・バッテリー**。

→習熟度と認知処理様式の特徴がわかる。